

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%
保護者様： 19名回答、回答率 90%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・机を移動する事で活動スペースを一時的に確保するなど工夫している。
- ・棚に玩具が置いてある状況が発生しているので、使用後は必ず事務室にしまうなど、より安全な対応をとっていききたい。

○業務改善

- ・送迎時など、教室にいる職員の人数が少なくなることがあるので、スタッフの配置に気を付け、死角がないよう注意している。
- ・個別対応を必要とする利用者の方もいらっしゃるので、職員同士声を掛け合って、円滑に児童対応ができるようにしている。
- ・日々の業務前ミーティングなどで情報、意見を話し合い共有している。

○適切な支援の提供

- ・昨年度の課題だった個別課題について幅を広げて行なっている。
- ・集団療育では、プログラムが固定化されないようにアレンジをするなど、日々の子どもの様子や反応を見て判断してから提供するように心がけている。
- ・実施後の良かった点、反省点を話し合い、次の活動に活かせるようにしている。

○関係機関や保護者との連携

- ・保護者、学校とは送迎時・連絡帳で日々の様子をやり取りしている。
- ・その他の関係機関と連携を取る機会が少なかったため、今後は必要に応じて核関連機関とも連携をとっていききたい。

○保護者への説明責任等

- ・毎月のニュースレターを通して療育活動をお知らせしたり、ブログで活動の様子をお伝えしたりしている。
- ・連絡帳や送迎時に子どもの様子や活動についてお伝えしている。

○非常時等の対応

- ・毎月行う避難訓練では地震や火事、水害などテーマを変えて行なっている。
- ・各テーマごとの訓練内容について固定化しないよう改善が必要であると考えている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・活動スペース、職員体制についての質問にはすべてのご家庭から適正であるとのこと回答をいただくことが出来た。
- ・バリアフリーに関して、「エレベーターに乗るまでに階段があるため、どちらともいえない」というご意見もいただいた。

○適切な支援の提供

- ・活動プログラムについては回答の95%が満足しているとのことだったが、どちらともいえないという回答もある事からブログやニュースレターでの紹介を増やしていけるようにする。
- ・児童クラブや児童館との交流については、どちらともいえないとのことご意見も多く実施について検討を続けていく。

○保護者への説明等

- ・支援の内容、利用者負担等についての説明についての設問で、全ての保護者様から「はい」との回答をいただき満足度が高いことがうかがえた。
- ・日ごろの状況やお子さまの発達や課題について共通理解が出来ているとの回答をいただいた。

○非常時等の対応

- ・非常災害の発生に備えた定期的な避難訓練については、全ての保護者様から「はい」との回答をいただくことができた。

○満足度

- ・95%のご家庭から通所を楽しみにしているかとの設問に「はい」との回答をいただいた。
- ・安心して預けられる場所があり子どもも親も感謝しています、とのことご意見をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・備品の整理やロッカーや棚の配置工夫を行なう事で必要な活動スペースを確保する。
- ・定期的に支援について見直し、それぞれの特性、成長に合わせた支援を行なう。
- ・他事業所の療育活動も参考にし、新たに取り入れる活動について職員で話し合う場面を設定する。
- ・ミーティング等を通して情報共有や業務分担を行なう事で連携を深め、職員が安心して働ける環境を構築できるよう努める。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・カラーテープの色を変えて床に貼る事で、運動スペースや勉強スペースなどそれぞれのスペースを分ける事が出来た。備品の整理等今後も続けてより安全に過ごせるように検討していく。
- ・通常開室時は支援について話し合う時間を設けることが出来たが、長期休み時はミーティングの時間をとることが難しいことがあったため、今後の課題として検討していく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・療育内容についてスタッフ間で話し合いを重ねることで、プログラムを固定化させず、アレンジをしたり、より楽しめるものにしたリ変化を加えて提供することが出来ている。
- ・各職員の得意分野を活かした療育を取り入れる事が出来ている。
- ・在職期間が長いスタッフが多いので、お子さまの成長についての理解が深く、ご家庭との話しや相談がしやすい環境・関係性を築けている。

○改善点

- ・職員の教室待機人数が少ない時の、職員配置場所や支援方法の工夫をする必要がある。
- ・緊急時の対応について職員の理解を深め、保護者にも対応方法を周知していく。
- ・業務分担を進め、一人一人の業務が偏らない事で負担を減らし職員の定着を目指す。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・お子さまの様子や活動の様子を全スタッフで共有し、教室内で話し合っ支援の方向性を定めていく。家庭連携などを通じてご家庭との連携の場を多く設け、信頼をさらに深められるようする。
- ・定期的にブログ更新を行い、教室の様子を外部に発信していく。

○1年間で取り組む具体策

- ・教室内の備品の整理、配置の工夫を進めより安全で過ごしやすい教室作りをしていく。
- ・支援について全体で具体的に話すことができるよう、全スタッフが全児童と関りを持てるように配慮し、全体で話し合いができる環境作りを行う。
- ・長期休みのミーティング、情報共有の手段を増やし改善していく。
- ・教室研修を行ない支援への意識、幅を広げ、職員が安心して働ける環境を整える。
- ・ブログ更新を定期的に行なえるように、業務分担を行い担当を決めて進めていく。